

資料 9

「みんないきもの大作戦！第4回いきもの作戦会議」 実施報告

〔日時〕平成25年8月24日（土） 13:30～16:30 （受付は13:00～13:30）

〔場所〕港区立エコプラザ

〔参加人数〕37名 うち在住6名、在勤9名、在学3名、区外13名、推進委員6名

〔ねらい〕

区民をはじめとしたさまざまな主体と、「港区生物多様性地域戦略」に関する課題・目標・行動計画に関連する意見交換を行うこと

〔話題提供者〕

草刈秀紀氏（WWF ジャパン事務局長付）

〔実施内容〕

実施時間	内容	詳細
13:00	開場・受付	資料配布等の実施。
13:30	開会のご挨拶	環境課長より。
13:45	港区のみどりと水・生物多様性について	事務局による港区の緑と水の現状と生物多様性についての説明。
13:55	第1部 話題提供	草刈秀紀氏：「生物多様性について活動するきっかけづくりについて」
14:25	第2部の説明	
14:30	休憩	テーマ決定。となりの部屋に移動。
14:50	第2部 テーマ別 「いきもの作戦会議」	参加者は、事前に用意された17のテーマからひとつ選び、グループに分かれ、グループごとにディスカッション。 前半は、自己紹介とテーマを選んだ理由の共有。 後半は「テーマについて具体的に何が出来るか」をテーマに対話。
15:55	ポスターセッション	各グループでまとめあげたポスター（模造紙）を張り出して参加者全員と共有する。
16:20	まとめ・共有	話題提供者の草刈委員と、中村副委員長からコメント。
16:25	お知らせ	次回の開催、アンケート等のお願いについてお知らせ。
	閉会の言葉	
16:30	終了	アンケート等回収。

意見のまとめ

いきもの作戦会議の最終回では、参加者の意見から得たテーマについて、実現に向けて「誰と」、「どのように」するかなどを話し合いました。話し合われた10テーマの概要を紹介します。



身近な自然マップをつくろう

- IT企業・専門家の協賛プロジェクト「生き物みつけちゃったマップ」の携帯アプリをつくる。
- 利用者はアプリを通じて見つけた生きものをアップする。
- 専門家による同定を経て、GISデータベースにアップロードされる。
- コンテンツは公園利用、観光促進、子どもの遊び場探し、学術データなどに活用される。

企業のための生物多様性の活動メニューをつくろう

- 「持続可能な情報交換の場づくり」をする。行政、NPO、企業、在勤者、地域が出入り自由な、広範囲な連絡会議としてつながる。
- 実践あるのみ！準備委員会をつくり、実現のための準備をする。
- Facebookでコミュニティをつくる。
- 「おもしろい」ことが大事！「おもしろい」を生み出す。



廃校跡などを利用しよう

- 職場や地域で農業クラブをつくり管理する（農業をしたい人はいるが場所がない）
- 昼休み菜園・週末菜園など、ライフスタイルに応じた係わりを可能にする。
- 収穫祭をして交流を図る。
- 小学校の校庭に土をつくる（温暖化対策にも）。井戸を掘り、水を供給する。
- 課題：資金→企業の協賛、管理→ 団体単位で責任をもつ、
労働力 → 昼休み（報酬はトマトなど）

教育のカリキュラムを変えよう

- 子どもは生きものに関わらなくては生きる力が育たないという前提が必要。
- 夏休みの宿題で生物標本づくりをいれるなど、学校教育のなかで無理なく楽しく伝える。
- 教育インフラ・システムを変えていく必要性を教育行政に伝え続けることが大事。

自然と自由にふれあえる場所をつくろう

- 生活のなかで身近に感じられる自然として、区立公園や学校の一部を原っぱに!
- 幅広い世代を巻き込み、区立管理者や校長先生に働きかける。
- まずは、子どもや親子のグループをつくり、支援制度などを利用して活動する。

生物多様性の勉強会をしよう

- 生物多様性についての理解を共有するために、勉強会を開催する。
- 「命のしくみ」が理解できるような教科書やマニュアルをつくり、学校の教育現場で使ってもらおう。

昼休みを活用しよう

- 会社の屋上や廃校で、コメやトマトなど作物をつくる。
- 区、在住、在勤者ととともにする。
- チーム体制です。1年のスケジュールがわかると参加しやすい。

さまざまな人が連携して活動できる受け皿をつくろう

- 循環型社会、命を大事にする社会を目指し、協議体などをつくる。
- そのために、区民と行政が対等な立場として協働し、基本的な話をする場を子どもも含めて設定したり、情報共有のパイプを継続できるしくみをつくる。

東京湾の浅瀬を「海の畑」にしよう

- 浅瀬に砂浜や藻場、岩場をつくり、養殖や放流といった栽培漁業を行う。美味しい魚を食べられ、デートスポットとしても活用できる。
- 海洋大、行政、建設会社、mecc、区民（町内会）とともに、お台場や葛西などの浅瀬で行う。そのために、普及啓発・人材育成、水質浄化、資金調達、環境アセスメント、食育などを行う。

区民、行政、企業、大学などをまきこんで運河、水をきれいにしよう

- 区民、行政、企業、大学のいくつものチーム・ネットワークをつくり、参加型調査や観察会、日常的に活動できるしくみづくりをする。
- まずは、目標・ビジョンをつくり、実現に向けた行動をする。